

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
阿蘇市	波野 (東部・北部・西部・中部)	令和4年2月16日	令和 年 月 日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	1,008.6ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	684.7ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	372.4ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	193.6ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	49.5ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	68.8ha
(備考)	

2 対象地区の課題

すぐに受け手の確保が必要となる農地は今のところないものの、70歳以上の農業者が後継者が未定の農地も193.6haある。日陰地や狭小な道路など、耕作条件が悪い農地の受け手確保が困難な状況となっている。雨量が多い気候条件の中、適地適作を前提に、担い手が確保できる条件整備が必要。除草作業などの共同作業の負担が大きく、機械化等による省力化が望まれる。施設園芸農家が多い集落では、農地の担い手の確保が今後の課題となっている。地区全域において、キャベツ、白菜、ソバ、牧草に対して、イノシシやシカの被害が発生している。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

東部地区の農地利用は、当面は地区内の農業者で農地の維持を行うとともに、地区外からの入り作や新規就農者の受け入れを行い、農業者の確保を行う。

北部地区の農地利用は、当面は地区内の農業者で農地の維持を行うとともに、地区外からの入り作や新規就農者の受け入れを行い、農業者の確保を行う。
担い手への集積、新たな担い手の確保に向け、基盤整備など農地の条件改善を検討する。

西部地区の農地利用は、当面は地区内の農業者で農地の維持を行うとともに、地区外からの入り作や新規就農者の受け入れを行い、農業者の確保を行う。
担い手への集積、新たな担い手の確保に向け、基盤整備など農地の条件改善を検討する。

中部地区の農地利用は、当面は地区内の農業者で農地の維持を行うとともに、地区外からの入り作や新規就農者の受け入れを行い、農業者の確保を行う。
機械化等による省力化を行い、農地や農業用施設の維持管理の負担軽減を図る。